

	大分大学 学際分野
学部等の教育研究 組織の名称	福祉社会科学研究科 (M : 12 名)
沿 革	昭和 24 (1949) 年 大分大学設置 平成 14 (2002) 年 福祉社会科学研究科設置
設 置 目 的 等	平成 14 (2002) 年 4 月に、「福祉社会科学」という理念の下で、深い人間理解を基礎におきつつ、国家・地域社会・NPO・企業などが福祉社会で果たす役割を科学的に分析するために、社会福祉学、法律学、経済学、社会学、経営学、教育学など幅広い社会科学の連携によって、現代社会における複雑で多岐にわたる福祉の諸課題について総合的・多角的に教育研究を進めることを目的として、福祉社会科学研究科が設置された。
強みや特色、 社会的な役割	<p>【総論】</p> <p>大分大学における学際分野においては、真理の探究を図るとともに、大分県や九州をはじめとした地域の福祉課題の解決の役割を果たすべく、教育研究を実施してきた。</p> <p>引き続き、上記の役割を果たしながら、教育及び研究において明らかにされる強み・特色・役割等により、学内における中長期的な教育研究組織の在り方を速やかに検討の上、実行に移す。</p> <p>【教育】</p> <p>○ 社会福祉学を中心に、法学、経済学、経営学、社会学、教育学等の幅広い社会科学分野を取り入れた教育研究を通じて、福祉を総合的・多面的に捉え、専門職業人として必要な専門知識の修得、福祉ニーズ及び課題を分析できる能力、総合的な判断力と問題解決能力を有する人材を養成する。</p> <p>○ このため、社会科学分野から福祉にアプローチする授業科目の充実や複数の専任教員による集団的な研究指導を行っている。</p> <p>○ これらの取組を通じて、これまでほぼ全ての修了生を社会福祉事業所の経営者、職能団体の会長、自治体の福祉行政の幹部など福祉社会分野に輩出しており、当該分野の人材養成の観点で、大分県からも高く評価されている。</p> <p>○ 今後、福祉・医療関係の専門職に従事する社会人、留学生を含め、社会経済構造や福祉ニーズの変化に的確に応え、福祉の政策・運営・実践</p>

に即しつつ、課程制大学院制度の趣旨に沿った教育課程と指導体制を充実・強化することにより、当該分野の強み・特色を一層明確にする。

【研究】

- 地域の福祉課題に関する研究実績をいかし、自治体、福祉関係団体等と連携した福祉ニーズの把握と、生活課題実態調査や福祉サービスの変容分析などに取り組んでいる。
- これらの取組を通じて、その調査や研究の結果が、大分県の大分県民福祉基本計画や老人福祉計画をはじめ、自治体の地域福祉計画や中心市街地活性化計画等を立案する際の基礎資料として活用されている。
- 今後、社会福祉学と法学、経済学、経営学、社会学、教育学などの学際的かつ総合的な研究を組織的に推進するとともに、大分県や九州をはじめとした地域の福祉課題の解決の研究に組織的に取り組む。また、少子高齢化における家族機能の変容に関する国際比較研究をテーマとしたメーラダーレン大学（スウェーデン）及び大邱大学校（韓国）との共同研究をはじめ、国際共同研究を推進する。

【その他】

- 全学的な機能強化を図る観点から、福祉分野を中心とした社会ニーズを踏まえつつ、大学院の教育課程及び組織の在り方、規模等を見直しに取り組む。